



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—



大野岳から初日の出を望む

【目次】

新議長・副議長選出, 新委員会構成・・・	P2
12月補正予算・・・・・・・・・・	P4
条例の制定・改廃・・・・・・・・	P6
一般質問・・・・・・・・・・	P7

議会傍聴, 3月定例会会期日程・・・	P13
所管事務調査報告・・・・・・・・	P14
市民の声, 人事案件・・・・・・・・	P16

新議長・副議長を選出

議長

伊瀬知 正人



副議長

山下 つきみ



議長あいさつ

議長就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

この度、議員の皆様のご推挙をいただき、南九州市議会議長に就任いたしました。重責ではありますが、議員各位のご協力ご支援をいただきながら円滑な議会運営に努めていく所存でございます。

昨年は、南九州市が合併して10年の節目を迎え、市制施行10周年の様々な行事が、多くの市民の参加を得て開催されました。これから、さらに足腰の強い南九州市を目指さなければなりません。

今後とも市政の意思決定機関として、また、市の行財政運営を監視する機関としての役割を果たすために、提言、提案の充実とチェック機能の強化を図ることはもとより、市民の皆様との情報

新たに議会運営委員、常任委員を選任

の共有化により、皆様の付託に応えられるよう努力してまいります。

最後に、今後とも「議会だより」の一層のご愛読をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の運営などに関する事項及び議長の諮問に関する事項について調査・審査を行います。

委員長
山下つきみ
副委員長
西次雄

委員
吉永賢三
蔵元慎一
大倉野忠浩
米満孝二
川畑実道



総務
常任委員会

委員長
西次雄
副委員長
大倉野忠浩
委員
日置友幸
鮫島信行
菊永忠行
浜田茂久
加治佐民生

総務常任委員会は、議会事務局・総務課・財政課・企画課・ふるさと振興室・防災安全課・知覧特攻平和会館・世界の記憶推進室・税務課・収納対策課・会計課・選挙管理委員会事務局・監査委員事務局の所管に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項について調査・審査を行います。



文教厚生
常任委員会

委員長
吉永賢三
副委員長
米満孝二
委員
大倉野由美子
松久保正毅
竹迫毅
山下つきみ

文教厚生常任委員会は、市民生活課・健康増進課・福祉課・長寿介護課・福祉事務所・教育委員会の所管に関する事項について調査・審査を行います。



産業建設
常任委員会

委員長
蔵元慎一
副委員長
川畑実道
委員
大久保太智
内園知恵子
今吉賢二
満留秀昭
伊瀬知正人

産業建設常任委員会は、農政課・耕地林務課・茶業課・畜産課・商工観光課・建設課・都市計画課・建築住宅課・水道課・農業委員会事務局の所管に関する事項について調査・審査を行います。



12月定例会の主な 補正予算

一般会計補正額
3億3788万円
補正後予算総額
210億9312万円

180万円



※イメージ

名誉市民条例に基づき、本市の名誉市民である塗木早美氏の功績碑を設置することになりました。

故・塗木早美氏の功績碑

129万円



耐震補強工事を行っている知覧体育館。その工事中に、天井部軒先に腐食が発見されたことから、追加工事を行います。

知覧体育館、追加工事へ

93万円



災害はいつ、どこで起きるかわかりません。暗い所でも災害対応できるよう、エアー膨張式投光器を2基導入します。

投光器で災害対応を

4840万円



茶業にとって桜島の灰は天敵です。国の補助を活用し、回転ブラシと風力で灰を除去する「摘採機能付き降灰除去機」を4団体に導入します。

灰に負けない茶業振興

200万円



空き店舗活用事業に新たに2事業者から申請がありました。

川辺地域において、喫茶店兼販売所と整骨院の開業を予定しております。

空き店舗活用対策を増額

281万円



現在、宮脇小体育館の照明が故障しており、夜間利用に支障が出ています。

LED照明へ取替工事を行います。

宮脇小にLEDが灯る

157万円



台風5号によって屋根を被災した市所有の知覧型二ツ屋民家。大河ドラマ「西郷どん」で観光客増加が見込まれるため、早期の対応が必要と判断し、補修をすることとなりました。

知覧型二ツ屋民家を補修

4954万円



ポータルサイトとの連携など、新たな挑戦を続ける本市のふるさと納税。寄附の増額に伴い、その一部を基金に積立てます。遠方の知人、ご家族へ呼びかけをお願い致します！

増額！ふるさと納税

市民の声を行政に問う

一般質問 11人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

市長 本市の発生状況は全自治会の59.3%、発生面積では市全体の38.2%に及ぶ。発見されず生息している地域もあり広範囲に及んでいる。今後とも家屋侵入防止薬剤購入助成の継続と自治

鯨島 ヤンバルトサカヤスデの発生地区が年々拡大しているが、現在の発生状況と今後の駆除対策について問う。
また、薬剤購入助成だけでなくヤスデ返し設置助成を行う考えはないか。



鯨島 信行 議員

ヤンバルトサカヤスデ

ヤスデ返し設置に助成を
市長／現在のところ考えていない



大量発生しているヤスデ

鯨島 発生地域の小学校ではヤスデが校舎に入っている。
会への薬剤の支給支援を行う。
ヤスデ返しの設置については、設置可能な住宅とできない住宅があり公平性の観点から総合的に考慮し、現在のところ考えていない。
ヤスデ返し設置については、学校の建物が大きく相当の費用がかかり、日常の管理も必要なことから慎重に検討する。

侵入し、授業の妨げになっている。ヤスデ返し等侵入防止対策を強化する考えはないか。
教育長 現在、川辺小、知覧小、浮辺小、川辺中に発生しており、校舎内にも侵入し困っている。発生している学校及び希望する学校に、駆除用薬剤を配付し、校舎内への侵入を阻止すべく取り組んでいる。

条例の制定・改廃

市長等の給与等に関する条例の一部改正

人事院勧告による国家公務員の給与水準の改定に伴い市長、副市長及び教育長の期末手当を改正する。

市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

人事院勧告による国家公務員の給与水準の改定に伴い議員の期末手当を改正する。

市職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告による国家公務員の給与水準の改定に伴い職員の給料等を改正する。

その他の条例

- ・南九州市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定
- ・南九州市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ・南九州市工場立地法地域準則条例の一部改正
- ・南九州市公民館条例及び南九州市市民交流センター ひまわり館条例の一部改正
- ・南九州市公営住宅条例の一部改正
- ・南九州市放牧場条例の一部改正
- ・南九州市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の廃止

指定管理者の指定

○図書館などの指定管理者の指定

施設の名称

知覧図書館・額姪図書館・ひまわり館図書室・ちらん夢郷館

指定管理者となる団体

団体名/特定非営利活動法人 夢を育む読書の会
代表者名/理事長 瀬川 浩三

指定管理期間

平成30年4月1日から平成33年3月31日まで



○青木放牧場の指定管理者の指定

施設の名称

南九州市青木放牧場

指定管理者となる団体

団体名/南さつま農業協同組合
代表者名/代表理事組合長 柚木 弘文

指定管理期間

平成30年4月1日から平成40年3月31日まで



議会だより
第40号の
訂正とお詫び

平成29年11月6日発行の南九州市議会だより第40号2ページ右上写真の脚注において、東京エンブラ商事鹿児島株式会社様の社名を「東京コンブラ商事(株)」と誤って記載しておりました。
訂正して深くお詫びいたします。



ひまわりバス

運営方式を改善し、利用増を

市長／早い段階で前向きに検討する



伊瀬知 正人 議員

に検討する。

栗ヶ窪小学校校舎大規模改修計画は

教育長／平成31年度に大規模改修工事を行う

伊瀬知 栗ヶ窪小学校校舎は、築50年を経過し老朽化が著しい。大規模改修工事を行う計画であったが、国の補助事業が導入できず予算化されていない。学校や地区民は期待している。大規模改修計画はどのようなか。

教育長 平成31年度に実施する。

市長 平成31年度に必ず大規模改修工事を行う。

伊瀬知 ひまわりバスはこれまで、利用者のアンケート調査や路線変更等を行い市民サービスに努力されているが、利用者は年々減っている。乗り合いタクシー（デマンド方式）を導入し、現在運行している拠点間バスと組み合わせることで、日常生活に必要不可欠な移動手段を確保する考えはないか。

市長 乗り合いタクシー（デマンド方式）などの導入、運営方式の改善について、早い段階で前向き



ひまわりバスで別府温泉へ

公図の複製

地目・面積等の記載を

市長／次年度より実施したい



竹迫 毅 議員

いている状況である。本市でも地目・面積の記載については現在のシステムで対応可能であることから、次年度より申

請者の要望により発行して、サービスの向上を図りたい。

竹迫 登記名義人についてはシステム上の課題もあり今後検討したい。

市長 登記名義人については、土地台帳の写しを発行している自治体もある。本市も発行してはどうか。

市長 条例等の改正も考えられる。今後検討したい。

竹迫 現在本市で発行する公図の複製は地番のみが記載されている。県内では霧島市、南さつま市、枕崎市等地目・面積、登記名義人等を記載した公図を発行している。

市民等の利便性向上のため本市でも取り組む考えはないか。

市長 現在、本市の公図は地番のみの記載で、地目・面積及び所有者については、土地台帳の閲覧により確認していただ



現在の公図の複製

鳥獣被害対策

今後の施策と取り組みは

市長／国の事業を活用し被害を最小限に抑える



大倉野 忠浩 議員

市長 寄せ付けない、侵入を防ぐ、個体数を減らす取り組みを総合的に推進する。

狩猟免許の取得推進、被害対策に有効な電気柵の設置を推進し、被害を最小限に抑え、中山間地域の農業振興を図る。

大倉野 ジビエ利活用について先進地の施策を取り入れ積極的に取り組む考えはないか。

市長 県においてジビエ普及に取り組んでいるが、捕獲鳥獣の食肉利用は約1割に留まり、販路確立に苦慮している。南薩4市で構成する南薩地域鳥獣被害防止対策推進会議により、広域的な加工処理施設の整備について協議検討されたが、課題が多い。今後先進事例の情報収集をしながら協議を継続していく。



鳥獣被害防止対策のパフレット

大倉野 本市の農作物の鳥獣被害の現状をどのようにに受け止めているか。

市長 農作物の被害額はH27年度606万円、28年度365万円。イノシシ、ヒヨドリの被害が多い。

営農・林業経営意欲の減退、荒廃農地の増加につながるため生息数の減少に向け地域の実情に応じた対策が不可欠である。

大倉野 被害対策に対する今後の市の取り組み

SNS活用

さらなる活用を図る考えは

市長／フォロワー数の増加に努める



日置 友幸 議員

ていきたい。

日置 具体的な検討においては、実際に個人でSNSを運用している方で行うのが良いと考えるが、見解は。

市長 検討については、SNSを活用する職員に検討させたい。



市の公式Instagram

日置 市公式SNSアカウントについて、Instagramが自治体アカウントとして全国有数の運用を実現している。一方で、フェイスブックやツイッターなどでは、改善点が多数あると思う。課題を踏まえ、さらなる活用を図る考えはないか。

市長 先進事例などを参考にしながら、効果的な活用方法がないかを検討したい。さらなるフォロワー数の増加に努め、交流人口の増加につなげ

日置 市民参加型ワークショップの実施を市長／積極的に取り入れたい

市長 市政への市民参加は大切だ。審議会等において、参加者が発言しやすいワークショップ形式を取り入れる考えは。

市長 *ファシリテーターの育成など、職員の資質向上に努め、意見やアイデアを求める際には、ワークショップの手法を積極的に取り入れる。

*ファシリテーター会議の進行を取り仕切り、発言を促す役割の人

議会を傍聴して

12月定例会において、南九州市役所新規採用職員8人が研修の一環として、議会を傍聴しました。うち1人の研修報告を掲載します。

今回、研修の一環として議会傍聴の機会をいただきました。総務人事係長より傍聴席での注意点及び議場に入るまでの流れ、専門用語についての説明を受けた後、傍聴席につきました。

議会では一言発するにしても挙手をして議長から許可を得ないことには発言権がないなど、いろいろな決まりごとがあり、議長の司会進行についても法令に則って進められていました。

報告、同意、議案については市の職員と議員とが『説明』によって情報を共有し『質疑』によって詳細な情報を理解し、『討論』によって互いの考えを出し合っ『表決』によって決めていくという、市民が初めて傍聴してもわかりやすい会議の流れになっており、誰が聞いても内容が把握できるようになっていました。

また、一般質問ではヤンバルトサカヤスデのことからひまわりバス、小学校の改修、公園の複製についてなど市民の生活に携わることについて幅広く質問があり、南九州市、市民の生活をよりよくするため、事細かなことまで話し合いがされていました。このような市民目線の問題を日常から注目し、代弁して下さる議員の方々の質問によって市民の日常生活が守られていることを改めて感じました。

議会を傍聴することによって、南九州市の行政がどのように運営され、決められているのか学ぶことができました。議会傍聴というなかなか個人では行う機会のない経験をさせていただき感謝いたします。今回の研修で学んだこと、感じたことを今後の職務に活かし、自分自身も市民目線で自分たちの仕事をチェックできるようにしたいです。

議会を傍聴してみませんか

**次の議会は
2月20日(火)開会予定**

＊手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

3月定例会

2月20日	本会議（開会）	施政方針、当初予算上程、条例・補正予算等質疑・委員会付託
26日	常任委員会	条例・補正予算等審査
3月6日	本会議	条例・補正予算等採決、条例・当初予算質疑・委員会付託、一般質問
7日	本会議	一般質問
8日	本会議	一般質問
9日	常任委員会	条例・当初予算等審査
12日	常任委員会	条例・当初予算等審査
14日	常任委員会	条例・当初予算等審査
15日	常任委員会	条例・当初予算等審査
23日	本会議（閉会）	条例・当初予算等採決

◆議会中継◆ インターネット配信または各庁舎ロビーでご覧いただけます。

子どもの貧困対策

給食費の無料化と医療費無料化の拡充を

市長／財政的に厳しい



内園 知恵子 議員

市長 は。ひとり親世帯の支援として、保育料の負担軽減や医療費助成事業に取り組んでいる。
内園 給食費の無料化を宇検村、長島町、曾於市、南さつま市が行なっている。本市も行なう考えはないか。
市長 財政的に厳しい。今のところ考えはない。



給食の様子（中福良小）

無料化を志布志市、曾於市、出水市などは、高校卒業までとしている。本市も拡充する考えはないか。
また、高校生ともなれば身体も強くなり、通院なども減少するので、財政負担は少ない。人口減を止めるためにも子育てしやすい環境を整えることが重要だ。
市長 はひとり親医療費助成は、高校生の世帯まで助成している。市の財政状況は厳しく、対象者を拡げることは考えていない。
その他の質問 ・通学路の安全を

アグリランドえい

企業が進出を決めているようだが、対応を問う

市長／進出が決まった企業はないが、受け入れについては検討する



浜田 茂久 議員

観光を主体としたまちづくりを
市長／地域資源を活用して、着実に取り組む

浜田 観光産業は、雇用・交流人口の拡大に加え、大きな経済効果を持っている。



夢・風の里アグリランドえい

ち、地域活性化を促す。観光を主体としたまちづくりに対し、市長の考えを問う。
市長 過疎・高齢化の中、交流人口を増やすことで地域活性化を図ることが重要だ。観光振興への取り組みは必要不可欠と考える。地域のあらゆる資源を活用し、さまざまな交流を推し進め、魅力と活力にあふれ、賑わうまちづくりの実現に向け、観光を主体としたまちづくりに着実に取り組んでいる。

提言！

閉会中の所管事務調査

総務常任委員会…公共施設等の管理について
文教厚生常任委員会…国民健康保険の現状と課題について
産業建設常任委員会…道路・河川維持の現状と今後の対策について

方針を決めて計画的に 適切な措置を

◆総務常任委員会◆

南九州市の公共施設の現状は、旧3町でそれぞれ高度成長期に整備された施設の老朽化が進み、近い将来に更新時期を迎えるものと見込まれています。

公共施設のうち建築物は全体で483施設あり、今後の維持管理に要する財政負担が増えてくることが予想されるため、施設の統廃合を含めた見直しが検討されています。

公共施設総合管理計画では、建築物の建替え時に複合化や集約化、統廃合などを実施すること、建替え対象の建築物の現在保有延床面積から40%縮減して建築することにより、計画期間の40年間で、総延床面積を19%縮減することを目標

としています。

建築物の将来更新費は40年間で1008億円、1年当たりで25億2千万円が必要になると予測されており、過去5年間の普通建設事業費の水準を維持した場合、建築物の更新に充てられる整備費は、1年当たり平均15億円と予測されることから、比較すると1年当たり10億2千万円の更新費が不足することが予測されます。

このことを踏まえ、本委員会は各地域にある同機能施設のうち、文化会館、運動公園、体育館等を現地調査して検討を行いました。

文化会館の建設は、知覧文化会館が昭和53年度、頤娃文化会館が59年度、川辺文化会館が61年

度で、既に約30年から40年が経過しており、点検により会館外壁の改修や吊り天井を改修するよう指摘がされています。

運動公園は各地域とも利用度が高く市民の健康増進に活用されている状況でありますが、公園内の一部の施設には利用されていないものもあり、管理面でも見直しが必要になっていきます。

体育館の建設は、川辺諏訪体育館が49年度、頤娃農業者トレーニングセンターと知覧体育館が53年度で、約40年が経過し老朽化が進んでいます。

提言

○各施設の法定耐用年数を基準にガイドラインを設け、更新の可否についての方針を早急に出して、今後市民への周知を図っていくこと。

○市民の健康増進を図る上から必要と思われる運動公園の施設は、管理の見直し



諏訪運動公園

や維持管理費の節減を図りながら、できるだけ地域に残す方向で検討すること。
○利用者のいない施設は早急に廃止するか、解体するかの方針を決めて、計画的に適切な措置を講ずること。

医療費適正化対策の強化に 努めること

◆文教厚生常任委員会◆

国民健康保険加入世帯数・被保険者数は年々減少していますが、国保加入者一人当たりの医療費は増え続けています。

本市の一人当たり医療費は、平成28年度4万3184円で、県平均より2万3692円高い状況です。

29年度においては、加入世帯の61.8%が保険税の軽減が適用され保険税収入は減り、一方、医療費は増えていることから国民健康保険の財政状況は悪化しています。

30年4月から県が国民健康保険の財政運営の責任主体となります。

新制度においては、県が市町村から徴収する納付金、市町村の標準保険料率の算定方法、保険税収納対策、医療費適正化

の取り組みなどの運営方針を定めます。

提言

○国保運営主体が県に移管されるが、国民健康保険税の変更については市民に速やかに周知を行うこと。

○本市は医療費抑制事業に積極的に取り組んでいるが、実効を高めるには市民、被保険者の意識改革が必要であり、重複診療者、頻回診療者に対する適正な受診や疾病の重症化予防のための支援、保健指導など、市民の意識高揚につながる支援事業の強化に努めること。

増進目的のスポーツ施設・温泉施設等の利用促進、地域食材を利用した食事の紹介、生きがいを持ってバランスの取れた生活をするための指導など、医療福祉、生涯学習、生涯体育など関係課の組織横断的な取り組みに努めること。
○医療費水準が高いことについて、他自治体との比較調査を行い原因究明に努め、医療費適正化対策の強化に努めること。
○税収納率は県下でも高い位置にあるが、税の公平性の観点から引き続き収納対策の強化に取り組むこと。

作業範囲の拡大に備え 大型機械等の導入を

◆産業建設常任委員会◆

道路及び河川の安全性や景観は、行政での維持管理業務と地域での奉仕作業等により保たれていますが高齢化と人口減少により作業に支障を来す自治会もあります。

今後、このような自治会が増加していく状況で、行政が担う維持管理業務の比重が高くなることとが予想されています。

このような中で市の維持管理体制は、行政改革による組織機構の見直し、再編でスリム化されることによって、道路及び河川の安全性や景観が損なわれることが懸念されています。

本市の維持管理作業は直営作業員を旧町毎に配置することによって、突発的な不良箇所の補修やイベント等に合わせて周

辺の伐採作業を重点的に行うなど、臨機応変な対応が可能となつていきます。

また、費用面においても本市の道路延長が長いことから、業務委託と比較した場合、割安となるこのことであります。

提言

○現在の直営における維持管理体制を堅持すること。

○今後予測される作業範囲の拡大に備え、大型機械の導入や作業の一部を外部委託する等の検討を行うこと。

○民有地から道路に覆いかぶさる高枝については、通行の安全を確保するため、地権者に周知し理解を求め、適切な管理を促すこと。



みんなで貯筋運動



大型機械トラクターモア

市民の声

人

事

案

件

議会広報編集
委員会の紹介

編集後記

本年も、穏やかな新年を迎えられたこと存じます。

早いもので市議選から2年経ち、議会運営の構成が変わりました。南九州市議会は申し合わせ事項で、議長・副議長は2年交代と決まっています。4年交代が良いのか、2年交代が良いのか意見がそれぞれあるようです。

多くの議員が議長の要職に就けるよう2年を希望する人、市を代表する議長の要職を遂行するためには4年が必要だという人など様々です。市民の方々のご意見も拝聴したいものです。私たち広報委員も今回交代し新たにスタートしました。前回からの留任3名と、元経験者2名がいることからスムーズに議会だよりの編集ができそうです。

市民の皆様は議会で決議されたことや出来事を的確にスピーディーにお伝えしたいと思いますので、皆様の率直なご意見やご感想、ご要望などお聞かせくださるようお願いいたします。

(鮫島)



頤娃町別府

宮崎 耕治

北から南へ 子育て環境を求めて

生まれ育った北九州市を離れてもうすぐ十年となります。

その北九州市と姉妹都市となっっている南九州市へ移住したことは何かの縁を感じます。

知り合いがいらない環境の中で、消防団に誘っていただくなど温かく迎え入れてくれたことで、とても居心地の良さを感じながら、この地に来てよかったと思っています。

移住した一番の理由は、子育て環境です。都会の喧騒とした中の子育てより、自然豊かな環境や地域の絆を感じることができると感じる方が感受性

豊かな子どもに育つと感じたからです。

ただ、こちらに来て感じたことは地域の公園が閑散としていること、また、遊具等の老朽化も気になります。

地域の方々の優しさや自然豊かな海などの環境は、とても良いと感じますが、親としては、腐食等が見られる遊具で子どもを自由に遊ばせるには正直不安です。

北九州市に帰省した際に感じたことは、遊具等の更新が進んでおり、安心して遊べる環境が整っているように思いました。そこには活気があり、子どもが将来地元に戻って子育てをしたいと思う心を創るきっかけになるのではないかと思います。

南九州市が、子育て環境に力を入れていることを市内外に示すことができれば私のような思いの人を呼び寄せることができるように思います。

これから、一市民として少しでも協力ができればと考えています。

教育委員会教育長



有馬 勉氏

鹿児島市 桜ヶ丘

任期 H30年1月8日～
H33年1月7日

教育委員会委員



池田 薫氏

川辺町 野崎

任期 H30年1月8日～
H34年1月7日

監査委員



今吉 賢二氏

頤娃町 郡

任期 H29年12月25日～
H31年12月22日

